RPSJ
NETWORK

Railway Preservation Society of Japan

日本鉄道保存協会総会 2009

2009（平成 **21**）年 **10** 月 **1** 日**–2** 日

東武博物館・東武ホテルレバント東京

日本工業大学工業技術博物館

は　じ　め　に

日本鉄道保存協会が設立されて、今年で 19 年となりました。この間、微力ながら皆さまのご支援とご協力を頂きながら活動を続けてきました。加盟団体がようやく 30 を超え、一層の広がりをみせていることは喜びにたえません。

最近では、歴史的車両の動態保存や静態保存が全国各地で推進され、広く一般の関心を集めつつあります。歴史的車両だけでなく、駅舎・橋梁・隧道など鉄道施設や鉄道に関する図書・文書などの文化遺産を保存し、地域活性化の核として活用する事例も見られるようになりました。これらは我が国の誇るべき近代化遺産であり、大切な宝物として後世に伝え残していきたいものです。

いま空前の鉄道ブームと言われ、多くの日本人が鉄道に対する関心を深めています。地球規模で激変する経済環境の中で、世界的に鉄道再評価の機運が高まり、わが国の政策も鉄道を中心とする公共交通の見直しに向かっています。また欧米諸国の事例が示すように、これからの成長産業と考えられる観光部門の中で、私たちの鉄道保存運動の果たす役割は小さくないと思われます。これらは私たちの活動にとってありがたい追い風です。

一方で、私たちの活動は大きな困難にも直面しています。多くの保存団体に共通する財政難の問題は言うまでもありませんが、そのほかにも最近の傾向として、意気込み高く始めた保存事業が時の経過とともに勢いを失う事例や、市町村の合併に伴って管理運営の困難を来している事例も見られます。この鉄道保存協会自体も、組織と言うにはあまりにも脆弱な存在であり、体質強化の必要に迫られています。私たちの活動の意義を、もっと多くの人々に伝え、理解してもらうことが何よりも必要です。これらの難問をどのようにして克服していくか、これからの保存運動の試練と言えましょう。

この総会は、正会員たる加盟団体と賛助会員が一同に会し、鉄道保存運動に関心を持たれる多くの方々をオブザーバーとしてお招きして、お互いの経験を語り知識と意見を交換する貴重な機会です。本年は来賓として、ちょうど一年前に発足した観光庁の観光資源課長をお招きし、講演をして頂きます。その後の事例報告と討論では、参加者の皆さんの活発な発言を期待いたします。懇親会にさきだち、英国ウェールズの著名な保存鉄道であるフェスティニオグ鉄道のゴードン・ラシュトン氏が、彼の地の鉄道保存事業の先進的な実例を、興味深い写真を通じて解説してくださいます。翌日の見学会では日本工業大学工業技術博物館を訪問し、動態保存されている B6 型蒸気機関車をはじめ、わが国の近代化を支えてきた数々の工作機械などの貴重なコレクションを見せて頂きます。慌ただしい 24 時間の日程ですが、参加者全員が明日の保存運動のための知恵と勇気を見いだせる機会となることを祈っております。

2009 年 10 月

日本鉄道保存協会代表幹事団体

（財）交通協力会会長兼理事長　菅　建彦

日本鉄道保存協会　2009（平成 21）年度総会

1. 総会および講演・討論会

［日時］　2009（平成 21）年 10 月 1 日（木）　12 時 30 分から 17 時 30 まで
［場所］　東武博物館（東京都墨田区東向島 4-28-16）

1230　東武博物館見学

1345　同館内ホールで総会開始
総合司会　名取紀之

1345　挨拶　事務局　菅建彦
顧問　小池滋

1350　出席者紹介

1400　総会議事
1) 代表幹事団体および会計監事団体の異動について
2) 新入会員承認
秩父鉄道株式会社、財団法人交通協力会、片上鉄道保存会、
3) 平成 20 年度事業報告　資料 1
4) 平成 20 年度収支報告　資料 2
5) 平成 20 年度会計監査報告　資料 3
6) 平成 21 年度事業計画（案）　資料 4
7) 平成 21 年度収支予算（案）　資料 5
8) 法人化の検討状況と今後の進め方について　資料 6
9) 次回開催地について

1445　（休憩）

1500　来賓講演「観光立国の取り組み」　観光庁観光資源課長　和田浩一　氏

1545　開催地報告　東武博物館館長　花上嘉成　氏

1600　（休憩）

1615　事例報告と討論

報告者：　陸別町商工会（りくべつ鉄道）　専務理事　小田均
若桜鉄道沿線活性化協議会（若桜鉄道）　竹本英樹
片上鉄道保存会（片上鉄道）代表　森岡誠治
森岡直子

コーディネータ：　米山淳一
コメンテータ：　堤一郎

1730　（懇親会場に移動）

2. 来賓プレゼンテーションと懇親会

[日時]　2009（平成 21）年 10 月 1 日　18 時 30 分から 21 時まで
[場所]　東武ホテルレバント東京（錦糸町駅から徒歩 5 分）

1830　プレゼンテーション「フェスティニオグ鉄道とウェルシュ・ハイランド鉄道」
フェスティニオグ鉄道元総支配人　ゴードン・ラシュトン氏

1900　懇親会　2100　（解散）

3. 見学会（日本工業大学工業技術博物館）

[集合時間と場所]　10 月 2 日（金）10 時 東武動物公園駅集合
数名ずつタクシーで日本工業大学に行きます。

東京都心部、同東部、南部方面からは北千住経由
0905 大手町（千代田線）発　0921 北千住着
0926 北千住発（東武急行南栗橋行）　0959 東武動物公園着
東京北部・さいたま市方面からは久喜経由
0902 赤羽発　0918 大宮発　0939 久喜着
0947 久喜発（東武急行中央林間行）　0954 東武動物公園着

見学箇所　日本工業大学工業技術博物館
埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学内
電話 0480 33 7545　FAX 0480 33 7570
http://www.nit.ac.jp/center/museum/index.html

見学順序　最初に工業技術博物館内の展示品を見学します。
その後、動態保存機 2109 号の運転を見学します。

昼食会　大学構内で昼食をとって解散します。帰路は駅まで徒歩で約 15 分。

日本鉄道保存協会加盟団体名簿　1

01 遠軽町（旧丸瀬布町）　町長　北川健司
099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 115-2　支所長　高橋秀視
遠軽町役場丸瀬布総合支所産業課観光係　係長　小山信芳
Tel　01584 7 2213　Fax　01584 7 2128

02 三笠市　市長　小林和男
068-2192 三笠市幸町 2
三笠市役所経済建設部商工観光課商工観光係　主事　谷内幸絵
Tel　01267 2 3997　Fax　01267 2 7880

03 北海道旅客鉄道株式会社　代表取締役社長　中島　尚俊
060-8644 札幌市中央区北 11 条西 15　Tel　011 700 5785　Fax　011 700 5786
運輸部運用車両課副課長　内藤正浩　運輸部運用車両課主席　藤田　俊

04 ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会　会長　加藤　勉
054-0364 北海道勇払郡穂別町富内　Te1　01454 6 6217　Fax 01454 6 6217
事務局長 服部啓三

05 三菱大夕張鉄道保存会　会長　奥山道紀
069-0855 江別市大麻宮町 4-6-502　Tel 011 387 4783　事務局　今井一郎

06 陸別町商工会　副会長　山本周二
089-4300 足寄郡陸別町字陸別原野基線 69-1　Te1 0156 27 3161　Fax 0156 27 2752

07 磐越西線 SL 運行推進協議会　会長　小野隆市
965-0816　福島県会津若松市南千石町 6-5　会津若松商工会議所
Te1　0242 27 1212　Fax　0242 27 1207　事業推進課長　一ノ瀬　善弘

08 真岡線 SL 運行協議会　会長（真岡市長）井田　隆一
321-4305 栃木県真岡市荒町 5203
Te1　0285 82 9151　Fax　0285 82 9152
事務局長　板口敏一　局長補佐ふるさと振興係　中山文行

09 碓氷峠交流記念財団「碓氷峠鉄道文化むら」　理事長　白石敏行
379-0301 群馬県安中市松井田町横川 407-11
Te1　027 380 4163　Fax　027 380 4111　館長　高橋　寛

10 日本工業大学　学長　柳澤　章
345-8501　埼玉県埼玉郡宮代町学園台 4-1　Tel　0480 34 4111
工業技術博物館　Tel　0480 33 7545　Fax　0480 33 7570
館長　松野建一　講師・学芸員　丹治　明

11 秩父鉄道株式会社　代表取締役社長　荒舩重敏
360-0033 熊谷市曙町 1-1　電話　048 523 3609　Fax　048 526 0051
運輸課長　滝上昇二

日本鉄道保存協会加盟団体名簿　2

12 西武鉄道株式会社　代表取締役社長　後藤高志
359-8520 所沢市くすのき台 1-11-1　Te1　04 2926 2283　Fax　04　2926　2239
車両部部長付き　平岡清次

13 財団法人東日本鉄道文化財団　理事長 大塚陸毅
151-8578 渋谷区代々木 2-2-2 JR 東日本本社ビル 11 階
Te1 03 5334 0623　Fax　03 5334 0624　企画部担当部長 高橋政弘

14 東武博物館（財団法人東武鉄道共助会）　館長　花上嘉成
131-0032　東京都墨田区東向島 4-28-16
Tel　03 3614 8811　Fax　03 3614 8814　管理課長　田口隆

15 財団法人日本ナショナルトラスト　会長　大塚陸毅
113-0024　東京都文京区西片 2-18-16
Te1　03 6303 1110　Fax　03 3818 1165　事業課　池之上真一

16 財団法人交通協力会　会長　菅建彦
102-0083 千代田区麹町 6-6 麹町東急ビル 7 階
Tel　03 3239 6641　Fax 03 3239 6642　事務局　高橋昭夫

17 上松町　町長　田上正男
399-5603 長野県木曽郡上松町駅前通り 2-13 上松町役場
Tel　0264 52 2001　Fax　0264 52 1038
産業観光商工観光係長　織田浩市

18 虹の郷（財団法人伊豆市振興公社）　理事長　西島滞徳
410-2416 静岡県伊豆市修善寺 4279-3
Te1　0558 72 7222　Fax　0558 72 7133　園内交通課　小川和博

19 大井川鐵道株式会社　代表取締役社長　伊藤優
428-8503 島田市金谷 1112-2　Tel 0547 45 4111　Fax 0547 45 4115
鉄道部副長　伊藤和則

20 東海旅客鉄道株式会社　代表取締役社長　松本正之
453-8520 名古屋市中村区名駅 1-3-4　Te1 052 564 2461　Fax 052 564 2462
車両部管理課係長　木村哲雄

21 博物館明治村（財団法人明治村）　館長　飯田喜四郎
484-0000　愛知県犬山市宇内山 1 番地　Tel　0568 67 0314　Fax 0568 67 0358
運営管理担当スーパーバイザー　近藤幹生

22 西日本旅客鉄道株式会社　代表取締役社長　佐々木隆之
530-8341　大阪府大阪市北区芝田 2-4-24　Tel 06 6375 8513　Fax 06 6376 6053
広報部課長代理　奥山喜文

日本鉄道保存協会加盟団体名簿　3

23 財団法人交通文化振興財団　理事長　佐々木隆之
552-0001 大阪市港区波除 3-11-1 交通科学博物館内
Tel　06 6581 5771　Fax　06 6584 1309　課長　高井洋文

24 貨物鉄道博物館　館長　清水武
510-8014　四日市富田 3-22-83　三岐鉄道本社内　Tel 059 364 2141
理事　北川潤

25 加悦 SL 広場（カヤ興産株式会社）　代表取締役　須藤洋右
629-2422　京都府与謝郡与謝野町滝 941-2　Tel 0772 42 3186　Fax 0772 43 0080
管理部　課長　今田哲男

26 NPO 加悦鐵道保存会　理事長　森本寿
629-2403 京都府与謝郡与謝野町字滝 941-2　加悦 SL 広場内
Tel 0725 20 3811（森本方）
加悦町観光協会事務局内（629-2403 与謝郡与謝野町字加悦 433-8）理事　篠崎隆
Tel 0772 43 0155

27 片上鉄道保存会　代表幹事　森岡誠治
733-0813 広島市西区己斐中 3-26-14
Tel 090 4809 9436　Fax 082 507 2035　書記補佐　森岡直子

28 NPO 市民文化財ネットワーク鳥取　理事長　渡辺一正
680-0022　鳥取市西町 1-106　Tel 0857 26 1151　Fax 0857 22 4103
事務局長　太田縁

29 馬路村　村長　上治堂司
781-6202 高知県安芸郡馬路村魚梁瀬　馬路村役場魚梁瀬支所
やなせ森林鉄道運営委員会　Tel 08874 3 2211　Fax 08874 3 2208
魚梁瀬支所長　五藤寿史

30 山口線 SL 運行対策協議会　会長　金澤卓雄
753-8501 山口市滝町 1-1　山口県商工労働部観光交流課
Tel 083 933 3170　Fax 083 933 3179　観光交流課主事　片山隆広

31 九州旅客鉄道株式会社　代表取締役社長　唐池恒二
812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21　Tel 092 474 2541　Fax 092 474 3898
広報室長　江越善一郎

32 ふるさと鉄道保存協会　理事長　手嶋康人
812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-11-12
Tel 080 6412 1666　Fax 092 414 5088

33　屋久島町　町長　日高十七郎
891-4404　鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間 157　Tel 0997 47 2111 Fax 0997 47 2117
企画調整課地域活性化対策係長　泊竜二

日本鉄道保存協会2009年度総会出席者名簿・その1　敬称略　☆新規加入者

所属等	役職等	氏名	総会	講演	懇親	見学
来　賓　国土交通省観光庁	観光資源課長	和田　浩一	○	○		
来　賓　国土交通省観光庁	観光資源課専門官	青木　幸裕	○	○		
来　賓　英国鉄道保存協会(Heritage Railway Association)	フェスティニオグ鉄道元総支配人	ゴードン・ラシュトン	○	○	○	○
来　賓　英国鉄道保存協会(Heritage Railway Association)		マーティンズ・クレイシス	○	○	○	○
顧　問	東京学芸大学名誉教授	青木　栄一		(欠席)		
顧　問	英文学者	小池　滋	○	○	○	
顧　問	㈱鉄道ジャーナル社　社長	竹島　紀元		(欠席)		
顧　問	産業考古学会	堤　一郎	○	○	○	
顧　問	レイル・マガジン編集長	名取　紀之	○	○	○	○
顧　問	地域遺産プロデューサー	米山　淳一	○	○	○	○
遠軽町(旧丸瀬布町)	(欠席)					
三笠市	(欠席)					
北海道旅客鉄道株式会社(JR北海道)	(欠席)					
ほべつ銀河鉄道の里づくり委員会	(欠席)					
三菱大夕張鉄道保存会	(欠席)					
陸別町商工会	専務理事	小田　均	○	○	○	○
磐越西線SL運行推進協議会	(欠席)					
真岡線SL運行協議会	事務局長補佐兼総務課長	中山　文行	○	○	○	○
碓氷峠鉄道文化むら(財団法人 碓氷峠交流記念財団)	係長	櫻井　一聖	○	○	○	○
日本工業大学	教授・工業技術博物館館長	松野　建一	○	○	○	○
日本工業大学	講師・工業技術博物館学芸員	丹治　明	○	○		○
☆秩父鉄道株式会社	(欠席)					
西武鉄道株式会社	(欠席)					
財団法人東日本鉄道文化財団	企画部長	阿部　好廣	○	○	○	
財団法人東日本鉄道文化財団	国際部主任	内藤　みずき	○	○	○	
東武博物館(財団法人 東武鉄道共助会)	館長	花上　嘉成	○	○	○	○
財団法人交通文化振興財団	課長	高井　洋文	○	○	○	○
財団法人日本ナショナルトラスト	事業課	池ノ上　真一	○	○		
☆財団法人交通協力会	会長	菅　建彦	○	○	○	○
上松町	商工観光係　主査	織田　浩市	○	○	○	○
虹の郷(財団法人伊豆市振興公社)	(欠席)					
大井川鐵道株式会社	南アルプス・アプトセンター次長	萬豆　明夫	○	○	○	○
大井川鐵道株式会社	元副社長	白井　昭	○	○	○	
東海旅客鉄道株式会社(JR東海)	(欠席)					
博物館明治村(財団法人明治村)	運営管理担当スーパーバイザー	近藤　幹生	○	○	○	○
西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)	(欠席)					
貨物鉄道博物館	理事	北川　潤	○	○	○	
加悦SL広場(加悦興産株式会社)	管理部課長	今田　哲男	○	○	○	○
NPO加悦鐵道保存会	理事	中井　喜宏	○	○	○	○
NPO加悦鐵道保存会	理事・事務局長	吉田　博一	○	○	○	
ふるさと鉄道保存協会	理事	中井　健二	○	○	○	○
☆片上鉄道保存会	森岡　誠治	森岡　誠治	○	○	○	○
☆片上鉄道保存会	森岡　直子	森岡　直子	○	○	○	○
NPO市民文化財ネットワーク鳥取	若桜町自立政策課係長	竹本　英樹	○	○	○	○
馬路村・やなせ森林鉄道運営委員会	(欠席)					
山口線SL運行対策協議会	(欠席)					
九州旅客鉄道株式会社(JR九州)	広報課長	江越　善一郎	○	○		
屋久島町	(欠席)					

日本鉄道保存協会2009年度総会出席者名簿・その2

	役職等	氏名	総会	講演	懇親	見学
賛助会員	株式会社鉄道ジャーナル社		（欠席）			
賛助会員	株式会社ネコ・パブリッシング	名取　紀之	（顧問欄に記載）			
賛助会員	日本鉄道写真作家協会	山崎　友也	○	○	○	○
賛助会員	北陸重機工業株式会社		（欠席）			
賛助会員	株式会社JTBパブリッシング	河合　桃子	○	○	○	
賛助会員	けいてつ協会	岡本　憲之	○	○	○	○
賛助会員	有限会社鉄道フォーラム	伊藤　博康	○	○	○	○
賛助会員	レイルウェイ・ライター	種村　直樹	○	○	○	○
賛助会員	（交通道徳協会「明るい旅」編集長）	水野　弥彦				○
オブザーバー	りくべつ鉄道ボランティアスタッフ	斉藤　幹雄			○	
オブザーバー	NPO法人語りつぐ青函連絡船の会	高橋　摂	○	○	○	
オブザーバー	NPO法人語りつぐ青函連絡船の会	大熊　昭	○	○	○	
オブザーバー	大畑線キハ85動態保存会会長	嶋　望海	○	○	○	
オブザーバー	南部縦貫レールバス愛好会	平蔵　伸洋	○	○	○	○
オブザーバー	南部縦貫レールバス愛好会	野平　茂雄	○	○	○	○
オブザーバー	よみがえれボールドウィン実行委員会	木村　一博	○	○	○	○
オブザーバー	よみがえれボールドウィン実行委員会	志水　茂	○	○	○	○
オブザーバー	鹿島鉄道保存会	加藤　三千尋		○	○	
オブザーバー	アサヒカメラ編集部	早坂　元興	○		○	○
オブザーバー	株式会社豊島園社長（西武鉄道）	西尾　恵介	○	○	○	
オブザーバー	長浜鉄道文化館名誉会長・四国鉄道文化館名誉顧問	増田　浩三	○	○	○	
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	田中　光一				○
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	橘　秀幸	○	○	○	○
オブザーバー	鉄道愛好家	倉繁　聡	○	○	○	○
オブザーバー	財団法人日本ナショナルトラスト会員	佐々木　雅子	○	○	○	
オブザーバー	著述業	白川　淳	○	○	○	○
オブザーバー	のりもの愛好家	岩野　弘一	○	○	○	○
オブザーバー	財団法人横浜市ふるさと歴史財団	可知　博道	○	○	○	○
オブザーバー	羅須地人鉄道協会代表幹事	角田　幸弘	○	○	○	
オブザーバー	羅須地人鉄道協会	高橋　卓郎	○	○	○	○
オブザーバー	TINHAT/FEDECRAIL	小田　恭一	○	○	○	○
事務局	財団法人交通協力会	高橋　昭夫	○	○	○	

日本鉄道保存協会規約

（名称）

第１条　　この会の名称は、日本鉄道保存協会（以下［協会］という）とする。

（目的）

第２条　　協会は、歴史的鉄道車両、**構造物、建物等を保存している**団体が集い、相互に情報を交換し、将来にわたる保存・活用を推進することを目的とする。

（会員）

第３条　　協会は、正会員たる加盟団体および賛助会員をもって構成する。

（会議）

第４条

１．協会の会議は、総会および幹事会とする。

２．総会は年１回開催するものとし、必要のつど臨時に開催することができる。

（役員団体）

第５条

１．協会に代表幹事団体１団体、幹事団体２団体、会計監事団体２団体を置く。

２．代表幹事団体、幹事団体、会計監事団体は、加盟団体の互選により選出する。

３．代表幹事団体は、協会を代表し会務を総理する。
幹事団体は、総会その他会務の執行に関する重要事項を協議する。
会計監事団体は、協会の会計を監査する。

４．役員団体の任期は２年とし、重任を妨げない。

（顧問）

第６条　　協会に顧問を置く。顧問は、総会において代表幹事団体が推薦し、任期は２年とし、重任を妨げない。

（友の会）

第６条の２

１．協会に日本鉄道保存協会友の会（以下［友の会］という）を設置し、協会

の活動を支持する個人をもってその会員とする。

２．友の会会員は総会に出席することができる。但し議決権を有しない。

（事務局）

第７条　　協会の事務局は、代表幹事団体に置く。

（会費）

第８条

１．協会の経費は、正会員、賛助会員**および友の会会員が**拠出する会費、**並びに**寄付金により賄う。

２．年会費の額は、正会員１２，０００円、賛助会員１２，０００円（１口）、**友の会会員3，000円**とする。

３．会計年度は、４月１日から翌年３月３１日までとする。

（規約の改正）

第９条　　この規約の改正は、総会の議決によらなければならない。

付則　　この規則は、平成３年４月１日から施行する。

総会の運営方法

原則として加盟団体が輪番制とし、開催に際しては、代表幹事団体および幹事団体ならびに開催場所の団体が協同して行う。

平成　３年　４月　１日施行

平成　６年　８月１０日改正

平成１６年　９月１０日改正

平成２０年１０月　２日改正

団体名	遠軽町	連絡先 〒099-0203 北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町 遠軽町丸瀬布総合支所産業課

＜森林鉄道雨宮２１号＞

雨宮号は昭和３年、東京の雨宮製作所で製造された機関車で３台が部品のまま輸送され丸瀬布で組み立てられました。その後、雨宮製作所では機関車の製造を中止したため、道内に導入された雨宮号はこの３台だけとなっています。

機関車には道庁が導入した順に番号が付けられ、丸瀬布の雨宮号は１８・１９・２０号となりました。

雨宮１９・２０号は昭和３年９月に、１８号は昭和４年５月に完成し、１９号は昭和４年５月６日、２０号は同年６月１６日、１８号は昭和５年６月１１日に輸送が開始されましたが、１８号は１３日稼動しただけで配置変えとなりました。

しかし、経済性や山火事防止の観点から、丸瀬布にも昭和２６年に２台のディーゼル機関車が導入され、蒸気機関車は昭和３３年１２月末日までに配車とすることになりました。

ちなみに、機関車の番号は昭和２４年度から営林局ごとの番号に改められ、雨宮１９号は２１号となりました。

この間、雨宮２１号は昭和３２年に危うくスクラップを免れ、昭和３６年５月１３日「サヨナラ運転」と格納式が行われ、営林署で保存の道が取られました。

その後、雨宮２１号は昭和５１年に営林局から町へ譲渡され札幌で復元整備し昭和５４年５月１５日いこいの森に新築された機関庫に格納され、翌１６日、２２年ぶりに「ぽーっ」という汽笛を響かせ試運転が行われました。その間に客車や貨車を購入し、昭和５６年には８の字の一周軌道も完成し、昭和５７年５月１日より「森林鉄道の走る緑と渓谷のマチ」として動態保存されています。

☆　平成１６年　北海道遺産に認定
☆　平成２０年　近代化産業遺産に認定

＜近況報告＞
＜雨宮号・ＤＬ機関車同時運行イベント＞
● 開催日　平成２１年９月１９日～９月２３日数回予定
● 場　所　遠軽町丸瀬布上武利　森林公園いこいの森
● イベント内容
雨宮号とＤＬ機関車を同時に運行し集客を図る。

１．運　行　日	平成２１年４月２９日から１０月２５日までの土・日・祝日 ※ゴールデンウィーク・夏休み期間は毎日運行
２．運行時間	午前１０時から３０分毎に午後４時３０分まで（昼１時間休み）
３．運行区間	遠軽町丸瀬布上武利　森林公園いこいの森園内一周約２km
４．乗車料金	大人　５００円　　小人　２５０円

団　体　名	三　笠　市	〒068-2192 三笠市幸町２番地　三笠市役所商工観光課 TEL　01267-2-3997　FAX　01267-2-2145 URL　http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/
施　設　名	三笠鉄道村	〒068-2145 三笠市幌内町２丁目 TEL　01267-3-1123　FAX　01267-2-6965 URL　http://www.s-304.com/

三笠鉄道記念館では、北海道鉄道開拓時代から旧国鉄時代に活用されていた貴重な鉄道関連品を展示しています。動体保存されている蒸気機関車 S-304 号は、1939 年に日本製鉄輪西製鉄所（後の新日本製鐵室蘭製作所）向けに作られた産業用機関車です。

■ＳＬ運行（乗車１回２００円）

運行日･･････４月１６日から１０月１５日までの土・日・祝日

※７月下旬～８月中旬までの夏休み期間は、休館日を除き毎日運行。

土曜･････････１２：００始発～１６：００発最終

日曜・祝日･･･１０：００始発～１６：００発最終

※３０分毎の発車です。１２：３０発の便のみありません。

■ＳＬ機関士運転体験

三笠鉄道村では、本物の蒸気機関車 S-304 号の運転体験ができます。

村内の幌内鉄道 350m を 1 往復。3 分足らずのわずかな時間ですが、気分はＳＬ機関士そのものです。関東や九州からの参加者もあり、中には 50 回以上も運転しているベテラン機関士の方もいます。（詳しくは下記の三笠鉄道村ホームページをご覧ください。）

■ホームページでのＰＲ

平成 18 年度にホームページを開設し、施設紹介等の掲載はもちろんのこと、館長のブログやイベント情報など随時更新しています。また、ＳＬ機関士運転体験の参加申し込みなどもホームページから可能です。

蒸気機関車 S-304 号

ＨＰアドレス→http://www.s-304.com/

三笠鉄道村公式 HP

QR コード

携帯電話用のサイトではありません
PC 用の画面でご覧ください→

団 体 名	北海道旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部　運輸部　運用車両課 〒060-8644 北海道札幌市中央区北 11 条西 15 丁目 TEL 011-700-5785　FAX 011-700-5786

四季折々の多彩な SL 列車を運行

弊社では、平成 11 年に C11 形蒸気機関車 2 両(C11-171、 C11-207)を復元して以来、四季折々の北海道の大自然や文化・歴史を堪能して頂ける各種観光列車、及びイベント列車として運行しております。

C11 形蒸気機関車 2 両は車両新製以来の車齢が高くなっており、復元からも年数が経過していることから、各部・各機器にわたって細心の注意を払い、検査・修繕を行っております。また、SL の運転に際しては、運転からメンテナンスに至るまで、多くの SL 特有の技術が必要であり、これらの技術の継承についても取り組み、今後も運行を継続し多くの皆様に喜んでいただけるよう努めて参ります。また、C11-207 号については8月から全般検査を行い、22 年1月の検査終了時（予定）は、復元時にも劣らない装いとなります。

今後も多くの皆様に満足していただき、喜んでいただけるよう継続して取り組んで参ります。

瀬戸瀬を走る「SL 常紋号」

平成 21 年度　SL 列車運転計画

○ SL 函館大沼号　函館本線（函館～森）
4/29～5/6、7/18～8/16 の土、日、祝
8/10～14

○ SL 富良野・美瑛ﾉﾛｯｺ号
富良野線（旭川～富良野）
6/7～8、9/13、14

○ SL 常紋号　石北線（北見～白滝）
6/27～28

○ SL 夕張応援号　石勝線（夕張～新夕張）
9/5～6

○ SL ﾆｾｺ号　函館本線（札幌～蘭越）
9/19～11/3 の土、日、祝

○ SL ｸﾘｽﾏｽ in 小樽号
函館本線（札幌～小樽）
12/11～20 の金、土、日、12/23～25

○ SL 冬の湿原号　釧網本線（釧路～標茶）
1/23、24、30～3/7

運転日は変更となる場合があります

留辺蘂を走る「SL 常紋号」

団体名	ほべつ銀河鉄道の 里づくり委員会	〒054-0364 北海道勇払郡穂別町字富内　高橋方 Tel.01454-6-6212

〔委員会の主な活動〕

旧駅舎・客車２両・鉄路延長１キロメートル・宮沢賢治が設計した「涙ぐむ眼」花壇・公園 10,000 ㎡などの保存、維持管理が主な活動となっている。

「涙ぐむ眼」

① 町おこしの経緯

昭和 61 年の廃線によって地域の過疎化が一層深刻になった。歴史を思わせる駅舎・線路・構内をなんとか保存することにより町おこしができないか、地域の数人が組織（富内再開発協議会）を立ち上げた。幸いにして横山村長が宮沢賢治の思想に感銘し、理想郷づくりに生命をかけて取り組んでいた。富内地域には、賢治観音像や鉄道もあり、条件が整っていたことから、銀河鉄道の里づくりと称して町おこしの活動がはじ始まった。

② 今までの活動経過・その他

- 宮沢賢治設計の涙ぐむ眼花壇の造成によって地域住民参加（地域・学校・精薄授産施設・老人クラブ）による活動が始まる。年２回植栽１２０名参加
- 会員が中心となって駅舎周辺の維持管理（線路の草刈り、駅舎の掃除、客車の清掃など）をおこなう。
- 毎年９月 14 日に開催するイベント（銀河鉄道の夕べ）。全国から鉄道愛好家が集まる。
- 町内外の各種イベントに積極的に参加し、交流を深める。
- 維持管理費については、町より若干の補助金の交付を受けている。
- 委員会のメンバーは、富内地域の４自治会の役員や主だった団体の関係者等で構成されている。

③ 公園化によっての周辺整備が 2000 年に完成

廃線後、従来の形のまま維持管理を進めてきたが、毎年訪れる人たちが増え、また周辺の整備も遅れ、建物の老朽化も進んだことから町に対して、整備改築の要請をしていた。財政的に厳しい事情からなかなか予算化されずに経過していたが、平成 12 年度に国・道・町の支援を受け、立派な公園が完成した。地域住民が参加し、手づくりによる公園ということで、全国から注目されている。

「坊ちゃん列車」

④ 2001 年よみがえれ汽笛キャンペーンの展開

廃線 15 周年目の記念行事として、2001 年９月 14 日にぼっちゃん列車を走らせた。

また、来年2006年は廃線20周年となるのでイベントの開催を計画している。

三菱大夕張鉄道保存会　　http://www.geocities.jp/ooyubari_rps/index/html

069-0855 江別市大麻宮町 4-6-502 今井方
現地連絡先
068-0547 夕張市南部新光町 55 高橋商店方
Tel　0123 55 2604

1999 年の会発足から 10 年経過する三菱大夕張鉄道保存会ですが、夕張市が財政破綻する中、旧南大夕張駅所在の夕張市所有保存車両の修復を進め、本年は荒廃の進んだホームの修復にも着手した。
また、同市の破綻により鉄道保存施設の維持・管理も困難となり、石炭の歴史村 SL 館の雪下ろしや、この 9 月には、JR 北海道の夕張応援号の運行にあわせて、歓迎行事として閉鎖中の SL 館の無料開放や、旧南大夕張駅での汽車フェスタを開催した。
今後も、炭鉱地域独自の鉄道遺産を地域再生に活用するよう活動を展開しますので、ご指導・ご支援願います。

団体名	ふるさと銀河線 りくべつ鉄道	〒　089-4300 北海道足寄郡陸別町字陸別原野基線６９番地１ Tel：0156-27-2244　　Fax：0156-27-2791 URL　http://business4.plala.or.jp/rikutetu/ Email　ginga@bz01.plala.or.jp

平成 20 年度事業実績

■営業期間：４月下旬～１０月下旬

■各種体験利用数

・体験乗車数　　４６５０名。
・トロッコ体験乗車　１５６０名。
・運転体験Ｓコース　　９００名。
・運転体験Ｌコース　　１９０名。

７ヶ月の営業期間に７３００名の体験利用がありました。

2月特別運行　高橋はるみ北海道知事が運転しました。

【気動車乗車体験】

CR75（銀河鉄道 999 ラッピング列車）を使用し運行しています。
料金：中学生以上 300 円・小学生 200 円・小学生以下無料

【トロッコ乗車体験】

足こぎ式を利用し 250m 区間を 2 往復程度
料金：中学生以上 300 円・小学生 200 円・小学生以下無料

【気動車運転体験】

CR70・75 型を使用し、運転士指導の下で運転していただくコースです。

（S コース）
女性の方でも簡単に体験できます。
料金：2000 円　　対象者：中学生以上
体験運転：約 15 分間（運転・説明）

（L コース）1 週間前完全予約制
予約方法：E メールまたは電話予約
料金：20000 円
体験時間：約 80 分間（講習・出区点検・運転）

平成 21 年度事業経過

※　駅構外試験運行＜ハイモ君の旅＞

8 月 8 日、14 日に排雪モーターカーが牽引するトロッコで 5km 先の旧分線駅まで試験運転をしました。
これは、元陸別工務区職員の協力により、安全確認がされ、本線運転が実現しました。試験運転は、無料で行われ、2 日間で延 100 名ほどが乗車しました。乗車後アンケート調査がおこなわれ、
「森の中の風が気持ちよかった」「早く実現してほしい」と大好評でした。

※　転車台復元工事

１９１０年に建設され、１９７０年代まで使われていた転車台を復元すべく今年度より作業が始まりました。
次年度までに周辺も整備し展示できるように取り組んでいます。

２００８年７月

２００９年８月

磐越西線ＳＬ運行推進協議会　連絡先　965-0816 会津若松市南千石町 6-5 会津若松商工会議所
Tel 0242 27 1212　　Fax 0242 27 1207

（磐越西線　会津若松駅～郡山駅間）

本年も、懐かしい汽笛とともに、磐越西線を力強く走っています。牽引するＳＬは、貴婦人の愛称で親しまれている、「Ｃ-５７　１８０号機」です。客車の中央には、展望車両が配置されており、車窓から流れる会津の風景を堪能してください。

停車駅・時刻表

上り「SL 磐梯・会津路号」

	会津若松	広田	磐梯町	猪苗代	磐梯熱海	郡山
上り	15:22 発	15:42 発	16:15 発	17:03 発	17:39 発	
		15:30 着	16:03 着	16:45 着	17:38 着	18:05 着
下り	13:30 着	13:20 発	13:05 発	12:35 発	11:25 発	10:32 発
		13:19 着	12:55 着	12:11 着	11:13 着	

下り「SL 郡山・会津路号」

※ダイヤ改正等により運転時刻が変更になることがありますので、ご利用の際は時刻表等でご確認ください。

指定券・乗車券についてのお問合せ先･･･
JRの主なみどりの窓口およびびゅうプラザ、主な旅行会社で販売しています。

団体名	真岡線 SL 運行協議会	〒 321-4305 栃木県真岡市荒町 5203 番地 TEL 0285（82）9151　FAX 0285（82）9152

【運行日】

１１月：１日，３日，７日，８日，９日，１４日，１５日，２１日，２２日，２３日，２８日，２９日

１２月：５日，６日，１２日，１３日，１９日，２０日，２３日，２４日

１月：９日，１０日，１１日，１６日，１７日，２３日，２４日，３１日，３０日

【運行区間】真岡鐵道　下館駅～茂木駅（41.9km）

【運行時間】下り）下館駅１０：３７発→茂木駅１２：０２着

上り）茂木駅１４：２８発→下館駅１５：５７着

【運行車両】SL　C12形66号　C11形325号

PC　オハ2両　オハフ1両

DL　DE10　1535　1両

〔近況報告〕

◆「SLもおか夏休みイベント２００９」開催

真岡線では今年の夏休みも、[SLガイド体験]・[SL教室]等を開催しました。

ＳＬ教室は、ボランティアのSL倶楽部会員が講師やスタッフになり、参加者にＳＬについて説明を行いました。事故もなく、安全に執り行うことが出来ました。ＳＬガイド体験は、小学生を対象としたイベントで、車掌さんの仕事を手伝える催しで、ＳＬに乗り合わせた乗客の皆様にも喜んで頂けました。 どちらのイベントも、受付が始まるとすぐに定員が埋まる盛況ぶりでした。

また今年は、新規イベントとして８月８日に「ＳＬ寅さん列車」を運行しました

このイベントでは、「真岡鐵道の寅さん」として誘客活動をして頂いている方達にご協力頂き、開催したもので、車内の雰囲気は「寅さんクイズ」で盛り上がり、イベントは大盛況のうちに終わりました。

▲説明を熱心に聞くＳＬ教室参加者

▲「寅さん列車」の寅さんと源さん

財団法人 碓氷峠交流記念財団
碓氷峠鉄道文化むら

トロッコ列車（まるやま駅にて）

住所／群馬県安中市松井田町横川 407-16
営業時間／３月～１０月　9:00 ～ 17:00
　　１１月～２月　9:00 ～ 16:30
　　（入園は閉園 30 分前まで）
休園日／毎週火曜日（8 月を除く）・年末年始
ﾄﾛｯｺ列車運行日／３月～１１月までの土曜・日曜・祝日・８月の毎日　１日５往復運行
入園料金／大人 500 円・小学生 300 円

碓氷峠鉄道文化むらは群馬県の南西部に位置し、碓氷峠をはさんで長野県の軽井沢町と接しています。峠のシェルパＥＦ６３形機関車の基地であった旧横川機関区の跡地で、東京ドーム３．５個分のスペースがあります。

峠の鉄道の歴史は古く、明治の初めに東京～京都間を信越本線経由で結ぶと決定されましたが、明治１９年にこの峠が難関のため東海道本線経由に変更された経緯のある所です。しかし、明治２６年には日本で初のアプト式鉄道の採用で開通しましたが、１１．２ｋｍで標高差５５３ｍもあり、トンネル区間が多いため当時蒸気機関車の煙害防止のため、明治４５年にこれまた日本初の電化区間となりました。

日本の鉄道技術の発展はこの峠から生まれたと言っても過言ではない線区でした。

時移り平成９年、長野オリンピックの開催を控えて、同年１０月１日の長野新幹線の開業と同時に併行在来線として１０４年の歴史にピリオドを打ちました。旧機関区周辺は鉄道の街として発展してきましたが、廃止に伴う過疎化防止と地域経済の核として、群馬県・松井田町・ＪＲ東日本の協力により平成１１年４月にオープンし、これまで全期を通じて黒字経営となっております。

信越本線横川～軽井沢間（通称、碓氷線）は廃線後早１２年が経とうとしており、廃線間際の熱気も潮が引くように静かになってしまいましたが、この廃線敷を使って峠のトロッコ列車の運行を行っています。本年は新幹線軌道確認車(GA100)が展示車両に加わり、また訓練用起動車2両も近日中に搬入され展示するほか、イベントで体験乗車ができるようにと考えております。

また日本で唯一のＥＦ６３形機関車の体験運転も約１，５００人が受講を終わり、既にのべ１８，０００回の体験を楽しまれ、１人で５００回の運転者も出現しております。

■問合せ先■
財団法人碓氷峠交流記念財団　碓氷峠鉄道文化むら
TEL　027-380-4163
FAX　027-380-4111
http://www.usuitouge.com
bunkamura@usuitouge.com

GA100

屋外展示車両風景

団体名	日本工業大学 工業技術博物館	345-8501 埼玉県 南埼玉郡 宮代町 学園台 ４－１ Tel. 0480-34-4111(大学代表) Fax. 0480-33-7570(博物館直通)

製造されて 115 年、疾走する 2109 号蒸気機関車の勇姿

2009 年の運転について

2109 号蒸気機関車を、原則として８月と 12 月を除く毎月第３土曜日に定期有火運転し、一般に公開している。写真にキャンパス内で運転中の様子を示す。

このほかにも学園祭等のイベント時にも有火運転を行っており、運転予定日時等の詳細は、当博物館事務室に問い合わせ下さい。
また、急な都合により運転内容・日時を変更させて頂く場合もあるので、ご容赦願います。

運転状況について
2007 年度に 2109 号蒸気機関車のボイラー煙管 172 本とステー管 16 本を交換して以来、年に２度の洗缶作業を実施し、同時に煙管等の腐食状況を確認し、トラブル無く有火運転を実施している。
これまでは、過去に入手した無煙炭をメインにピッチ練炭を混合して有火運転を実施していたが、在庫している無煙炭が減少し、新たな入手(購入)も困難なことから、現在では、ピッチ練炭をメインとしている。良質で、適切な無煙炭を入手が今後の課題である。
下記に平成 21 年度の有火運転実施日と予定日の一覧を示す。

平成21年度　2109号蒸気機関車　有火運転実施日

5月16日(土)	定期運転	(13：00～15：00)
6月20日(土)	定期運転	(13：00～15：00)
7月12日(日)	オープンキャンパス	(12：00～15：00)
7月18日(土)	定期運転	(13：00～15：00)
8月 1日(土)	オープンキャンパス	(12：00～15：00)
8月 2日(日)	オープンキャンパス	(12：00～15：00)
8月22日(土)	オープンキャンパス	(12：00～15：00)
9月13日(日)	オープンキャンパス	(12：00～15：00)
9月19日(土)	定期運転	(13：00～15：00)

平成21年度　2109号蒸気機関車　有火運転予定日

10月17日(土)	定期運転	(13：00～15：00)
11月 1日(日)	大学祭・ホームカミングデー	(12：00～15：00)
11月21日(土)	定期運転	(13：00～15：00)
3月21日(土)	定期運転	(13：00～15：00)

(平成21年 9月20日現在)

団体名	西武鉄道株式会社 池 袋 線 車 両 所 横 瀬 車 両 基 地	連絡先 〒357-0063 埼玉県飯能市飯能９３７－１ 池袋線車両所　武蔵丘車両基地

◇　車両基地の概要

1970 年（昭和 45 年）1 月、西武秩父線開業を受け電気機関車・貨車専用基地として埼玉県横瀬町に開設。その後所沢検車区の支区となったが、1989 年（平成元年）9 月に所沢車両管理所の廃止により、業務を統合して横瀬車両管理所となった。

開設当初は武甲山から採掘される石灰石を原料とするセメント輸送が盛んであったが、トラック輸送への転換でセメント輸送は 1996 年（平成 8 年）3 月末に廃止となり、バラスト輸送のための E31 形電気機関車と貨車を残すのみとなった。2008 年（平成 20 年）7 月に機関車によるバラスト輸送が廃止となり、機関車は甲種車両輸送で活躍するだけとなった。

近い将来、甲種車両輸送は全車電動車の 101 系 263 編成が代わりに行う予定であり、西武鉄道における電気機関車の歴史も幕を終えることになる。

◇　保存車両

検修棟内には舶来の古典旧型電気機関車や 5000 系レッドアロー他計 8 両が静態保存されている。

＜E851 形＞

1969 年（昭和 44 年）西武秩父線の開通に伴ってデビューした機関車で、425kw モーターを 6 個装備し出力は私鉄機関車最大級を誇る。側面の丸窓と朱色とクリーム色の塗装で東横瀬から正丸峠を越え JR 武蔵野線の新秋津までセメント輸送を行った。

＜E51 形＞

1923 年（大正 12 年）東海道線電化開業に合わせて国鉄（鉄道省）がスイスのブラウン・ボベリー社から輸入した貨物用電気機関車である。全体的に角の取れたスイスの機関車らしい車体である。

◇　西武トレインフェスティバル 2009　in　横瀬

恒例のトレインフェスティバルが今年も開催される。今年は西武秩父線開業 40 周年を記念して横瀬車両基地のほか西武秩父駅でもイベントが開催される。

- 開催日　平成 21 年 10 月 4 日（日）
- 時　間　10：00　～　14：30（雨天決行・荒天中止）
- 内　容　車両展示、鉄道部品、往復乗車券（硬券）の発売など

当日は 101 系ツートン塗装車を横瀬～西武秩父間で臨時電車として運転するほか池袋～横瀬間でヘッドマーク付臨時快速急行を一往復運転される。

団体名　財団法人東日本鉄道文化財団

館名　鉄道博物館（THE RAILWAY MUSEUM）

【所在地】〒330-0852　埼玉県さいたま市大宮区大成町 3-47
【TEL】048-651-0088
【FAX】048-651-0570
【URL】http://www.railway-museum.jp/
【沿革】2007(平成 19)年 10 月 14 日開館
【近況報告】　　**展示車両が新たに１両仲間入りします!!**

当館は平成 21 年 10 月 14 日で開館 2 周年目を迎え、来館者総数がまもなく 3 百万人を達成する見込みです。

また 10 月 21 日(水)より、新たに 0 系新幹線電車を 1 両展示し、一般公開いたします。今回展示する車両は 1964(昭和 39)年の東海道新幹線開業に向け最初に量産された 360 両のうち、大阪方先頭車(「21 形式」)の 1 両(21-2)です。開業当時の原型の姿をとどめる貴重な 1 両で、JR 西日本より譲渡されました。

JR 東日本大宮総合車両センター内で車両の修復作業が終了し、9 月 12 日(土)深夜に当館へ搬入いたしました。展示棟内では東海道新幹線開業当時の東京駅ホームの情景を再現し、そこに０系が停車しているような演出を施します。車両の中に入り車内の様子を見学できるほか、ホームの一部を掘り下げ、台車や床下機器を間近で見られるようにします。

▲展示を待つ０系新幹線電車

▲転車台回転実演と混雑状況

【主な活動状況】

○　企画展

第 3 回特別企画展『電車特急 50 年～ビジネス特急「こだま」から JR 特急まで～』
（平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 4 月 6 日）

第 2 回コレクション展「時刻表」（平成 21 年 4 月 22 日～8 月 31 日）

○　映像上映

上映内容	上映タイトル	期間
さよなら「富士」・「はやぶさ」映画会	「華麗なる旅路」(1979 年/30 分) 「はやぶさの旅路」(1979 年/17 分)	2/28～4/6
昭和の鉄道映画会	「青春急行列車」(1935 年頃/18 分)	4/9～5/11
鉄道設備工事記録映画会	「鉄道土木工事」(1925 年/8 分) 「軌道工事」(1926 年/5 分) 「鉄道信号」(1938 年/30 分)	5/14～6/29
東海道本線全通記念映画会	「つばめを動かす人たち」(1954 年/23 分) 「特急 あさかぜ」(1958 年/15 分)	7/2～7/31
夏休みこども映画会	「かっこいいぞ！にっぽんの鉄道 SL」(2008 年/37 分) 「かっこいいぞ！にっぽんの鉄道 しんかんせん」(2008 年/37 分)	8/1～8/31
「走れ！特急」映画会	「走れ！特急 東日本・中日本編」(1979 年/50 分)	9/3～9/28

【下期の主な計画】

○　企画展

第 4 回企画展「雪にいどむ（仮題）」平成 21 年 12 月 19 日～平成 22 年 4 月 11 日

財団法人　東武鉄道共助会　　東武博物館

ＴＯＢＵ　ＭＵＳＥＵＭ　ＯＦ　ＴＲＡＮＳＰＯＲＴ　＆　ＣＵＬＴＵＲＥ

〒１３１－００３２
東京都墨田区東向島４－２８－１６
ＴＥＬ　０３－３６１４－８８１１　　ＦＡＸ　０３－３６１４－８８１４
ＵＲＬ　http://www.tobu.co.jp/museum

※平成２１（２００９）年７月２２日（木）リニューアルオープンしました。

保存車両　　明治３１年ベヤーピーコック社（英国）製蒸気機関車２両、大正１３年日本車輌(株)製木造２軸ボギー電動客車など、東武鉄道のさまざまなジャンルの車輌１２両を展示。（部分保存を含む）

※今回のリニューアルで次の３両を新たに展示。東武鉄道最初の蒸気機関車・電気機関車･電車が揃いました。

・ＥＤ１０１形１０１号／1930 年　イングリッシュ・エレクトリック社製
・５７００形５７０１号／1951 年　汽車会社製
・貨車トキ１形／1967 年　汽車会社製

施設概要　　鉄道について遊びながら学べる体験型博物館。車輪を回転させ汽笛を鳴らすＳＬショー、約１５０両の模型電車が走り東武鉄道の一日を紹介するパノラマショーを見学できます。パノラマショーのジオラマには 2012 年開業予定の東京スカイツリーの模型を配置し、新たな東武沿線の風景をご覧いただけます。また、フルハイビジョンの実景を見ながら運転体験できるシミュレータではワンハンドルタイプのものが加わりました。さらに、高架下という立地を活かして、営業線を走る電車を間近に観察できるコーナーもあります。

団体名	財団法人 **日本ナショナルトラスト**	〒113-0024 東京都文京区西片二丁目 18 番 16 号 TEL：03（6303）1110　FAX：03（3818）1165

○2009 年「トラストトレイン」運航日

4/19(日)、5/31(日)、6/20(土)、7/5(日)、8/30(日)、9/5(土)、 10/3(土)、12/5(土)

＊　8 月 30 日は「親子ボランティア」を開催

〔区間〕　大井川鐵道　新金谷―千頭間

〔保有車両の編成〕

スハフ 43 形 2・3 号客車、オハニ 36 形 7 号荷物合造客車

〔運行時間〕

新金谷駅 11:58 発→千頭駅 13:13 着

千頭駅 15:23 発→新金谷駅 16:42 着

【近況報告】「親子ボランティア」の開催

去る 8 月 30 日（日）に、特に次代の文化遺産の継承者である子どもたちに多く参加してもらうことを目的とした「親子ボランティア」を実施しました。

参加者は、一般参加者 20 名、スタッフ 3 名の総勢 23 名でした。行程は、いつものボランティア内容と少し変更しました。子どもが参加しやすいように、下りのみ活動とし、大井川鐵道株式会社のご協力により C12 の撮影会や機関士体験を実施しました。

SL 磨きから始めたのですが、最初は子ども達も見慣れない SL にとまどい、実感があまりわかなかったようですが、機関士の服に着替え、石炭の釜入れや汽笛ならし等の機関士体験をする頃には、大人も子どもも目を輝かせながら本物の SL 機関士さんの親切な説明に導かれながら、一生懸命に体験に取り組んでいました。

運転中の車内では、ドア扱いや車内放送、お客さんの誘導などといった車掌体験も実施し、保存客車の運航のサポートをしました。もちろんトラストトレインの保存と今後の活動の継続のための車内募金も実施しました。初めて参加した子どもたちは、最初はなかなか声を大きく出しにくい子もいたようですが、段々と慣れてくると積極的に乗客にお願いの声をかけることが出来るようになったようです。

トラストトレインでは、客車の清掃や車内募金などといったボランティア活動が、保存活動の継続に重要な役割となっています。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

■上松町　赤沢森林鉄道

〒399－5603
長野県木曽郡上松町駅前通り2－13　上松町役場内
TEL　0264(52)2001　FAX　0264(52)1038
http://www.avis.ne.jp/~hinoki/

2009年、赤沢森林鉄道は次の日程で運行されています。

■　2009年度運行日程

4月25日～11月8日までの土曜･日曜･祝日運行うち、下記の日程で連日運行があります。

GW	4月25日～5月6日
SW	9月19日～9月27日
夏休み期間	7月18日～8月31日
紅葉シーズン	10月1日～11月3日

また、本年は試験的に平日も運行しております。

■　運行時刻　土曜･日曜･祝日　9:30～15:30の30分毎に1便運行
※　夏休み運行期間中は　9:00の便が追加されます。
※　紅葉シーズンの平日は、10:00～15:00までの1時間毎に1便運行
※　上記以外の平日については10:00～14:00までの1時間毎に1便運行
（ただし、軌道整備期間は除く。）

■　乗車料金　（15名以上は団体･各100円割引）
大人800円　　4歳～小学生500円
※　夏期イベント期間（8月1日～16日）は、イベント参加料金となります。
大人　1000円　4歳～小学生700円

■　運行区間　森林鉄道記念館前～丸山渡停車駅　往復2．2kmを25分で運行

【2009年の記事】

今シーズンより赤沢森林鉄道運行業務につきましては、第三セクター「上松観光開発有限会社」にて委託運行しております。

夏期イベント期間は、前半は天候に恵まれませんでしたが、後半は多くの家族連れやツアーのお客様がこの赤沢森林鉄道に乗車していただきました。しかしながら、本年は冷夏や新型インフルエンザなどの影響をこの森林鉄道も受けました。

一方で、良いニュースもあります。本年2月には、この森林鉄道遺産群が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されました。

また、右記写真のディーゼル機関車AFT01号は10年以上運行しておりましたが、本年度、2号車（AFT02号）を製造中（請負業者「北陸重機工業株式会社」）であり、11月上旬に納車されます。

秋の紅葉シーズンは連日運行期間となりますので、たくさんのお客様のご乗車をお待ちしております。

団体名	財団法人 伊豆市振興公社 修善寺虹の郷	〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺4279-3 Tel 0558-72-7222 Fax0558-72-7133

CUMBRIA NORTHERN ROCK Ⅱ 重連運転

保有車両

蒸気機関車 4両

ERNEST W TWINING	2－C－1	1949年製造
NORTHERN ROCK Ⅱ	1－C－1	1989年製造
CUMBRIA	1－C－1	1992年製造
C－11（金沢工業大学より貸与された）	1－C－2	1996年製造

ディーゼル機関車 2両

JOHN SOUTHLAND Ⅱ	B－B	1988年製造
CITY OF BIRMINGHAM	0－C－0	1992年製造

客車

普通客車	（乗車定員 20名）	13両
オープン客車	（乗車定員 20名）	2両
車椅子用客車	（乗車定員 車椅子4台）	3両

軌道延長　本線 2,315M　引き込み線・待避線 700M

付帯設備　転車台 1基

建物　駅舎 2棟　機関庫 1棟

[近況報告]

2008年	12月	SL教室（小学生高学年対象）
2009年	1～4月	車椅子客車外装、内装修理
2009年	2月	蒸気機関車ボイラー性能検査
	5月～	普通客車屋根、外装、内装修理

ホームページ　http://www.nijinosato.com/

団体名	大井川鐵道株式会社	〒４２８－８５０３ 静岡県島田市金谷東２丁目１１１２－２ TEL　０５４７－４５－４１１１ FAX　０５４７－４５－４１１５

今回の定期検査でナンバープレートと連結棒は、九州仕様の緑色に戻しました

◎大井川鐵道株式会社　　SL 川根路号　　金谷～千頭間（静岡県）

運転車両：蒸気機関車　　C108　C11190　C11227　C5644
　　電　　車　　元近鉄 16000 系・元南海 21000 系・元京阪 3000 系

運転期間：通年運転
　　※SL 列車は、原則として 12 月上旬から 3 月中旬の火・木曜日は運休（平成 21 年度）

お問い合わせ先：大井川鐵道株式会社　営業部
　　TEL〈0547〉45-4112　　FAX〈0547〉45-4116

ホームページ　http://www.oigawa-railway.co.jp

大井川鐵道公式ホームページでは、列車運転時刻、運賃・料金、車両の紹介をはじめ、各種グッズの販売、ロケ情報、イベント情報などをご案内しております。
また、SL 列車の座席がメールで予約できます。

団体名	東海旅客鉄道株式会社	〒450-8520　名古屋市中村区名駅一丁目3番4号 東海鉄道事業本部　車両部　管理課 TEL052-564-2461　　FAX052-564-2462

佐久間レールパーク展示車両今年も修繕実施中！

当社の飯田線中部天竜駅に隣接した「佐久間ﾚｰﾙﾊﾟｰｸ」には、16両の車両を常設展示しております。7年前からは車内及び屋根周りの修繕を実施し、昨年度は、ﾓﾊ52004、ｷﾊ181-1、ｵﾊ35206、ｷﾊ48036の4両について修繕実施しました。今年度はｵﾔ3112、ｽﾆ3095、ED112、ｸﾊ111-1修繕を終えました。今後はﾏｲﾈ407、ｵﾛﾈ1027修繕を行います。

また伊那松島運輸区に保管してあるｸﾓﾊ12041、ﾓﾊ1035の修繕も行いました。

なお、佐久間レールパークは今年の11月1日をもって閉園となりますが、展示車両の一部は平成23年春開業の「JR東海博物館（仮称）」に移動し展示することになります。

◇佐久間レールパーク

【ｵﾔ3112】外板・屋根上及び室内修繕

【ED112】外板・屋根上及び運転台修繕

【ｽﾆ3095】外板・屋根上及び室内修繕

【ｸﾊ111-1】外板・屋根上及び客室修繕

◇伊那松島運輸区

【ｸﾓﾊ12041】外板・屋根上及び客室内修繕

【ﾓﾊ1035】外板修繕

団体名	財団法人 **博物館　明治村**	〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地 電話 0568-67-0314

近況報告

蒸気機関車１２号・９号
　４月に１２号の軸バネ交換を実施
　８月に９号の逆転機装置修理

ハフ１１・１３・１４
　２月にハフ１１の塗装工事を実施
　４月にハフ１１の軸バネ交換を実施

京都市電
　毎月１回、名古屋鉄道（株）車両部による車輌点検を実施

設備工事・点検
　２月に SL 線道床交換（約１６０m分）を実施
　半年１回、（株）メイエレックによる電路・電気設備点検を実施
　半年１回、矢作建設（株）による鉄軌道点検整備を実施

実績と今後の予定
　平成２１年３月７日から７月２６日まで春の催事「明治探険隊Ⅳ」の開催に合わせ、期間中イベントとして、「ＳＬバックヤードツアー」を開催しました。
　５月１６日（土）・６月２０日（土）・７月１８日（土）の計３回開催。
　ＳＬの往復乗車と給水作業や車庫など普段は見られないＳＬ運行の裏側の説明などを加えながら、分かり易く説明しました。
　対象は、小中学生および保護者（２名まで同伴可）小学３年生以下の方は保護者の同伴が必要。参加料はお一人５００円（入村料は別途必要）
　平成２１年６月２４（水）にハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニーのソロ・ホルン奏者のテオドール・ヴィメス氏が来村し、民間交流の一環としてポスト・ホルンの合図による出発式を開催しました。
　これは６月２５日のハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー来日名古屋公演に合わせ、本人の強い希望もあり実現しました。

　今後の予定としまして、明治村秋の催事に合わせ、１０月１０･１１日に子供転車台体験と、１０月３１・１１月１日に京都市電にて「運転席で記念写真!」と題して、現在明治村乗務員が着ている制服（詰襟）を着て、留置車両の運転台で記念写真を取っていただく企画です。制服は大人用と子供用を用意しています。
　いずれも、参加料は無料を予定しています。

団体名	西日本旅客鉄道株式会社	〒５３０－８３４１ 大阪市北区芝田二丁目-4 番-24 号 TEL06-6375-8513

○梅小路蒸気機関車館に1070形1080号蒸気機関車を展示

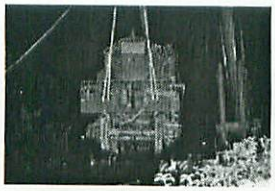
日鉄鉱業株式会社様の栃木事業所にて保存されていました1070 形 1080 号蒸気機関車を受贈し、整備の後、９月 15 日より梅小路蒸気機関車館にて展示しました。

同機関車は、1901（明治 34）年にイギリスで製造され、日本に輸入された明治時代の官設鉄道を代表するテンダー機関車で、主に東海道線を走行する急行旅客列車の牽引機として活躍しました。導入時の名称は、D９形 651 号でしたが、1909（明治 42）年に、機関車形式称号改正に伴い 6270 形 6289 号となりました。1926（大正 15）年にはテンダー機関車からタンク機関車に改造が施され 1070 形 1080 号に名称変更されました。改造後の同機関車は、地方線区や入換用の機関車として 1938（昭和 13）年まで国鉄で活躍した後、日鉄鉱業株式会社に移り、1979（昭和 54）年まで主に鉄鉱石、石灰石やドロマイトの運搬に使用されました。

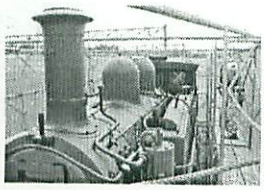
＜搬入～展示＞

７月 21 日夜間に栃木事業所を出発した「1080」号蒸気機関車は５日かけて京都に到着。７月 26 日深夜から早朝にかけて梅小路蒸気機関車館への搬入作業が行われました。同館搬入後は、塗装や金属部の磨きなど展示に向けた整備が行われ、９月 14 日には関係者列席のもと譲渡式を開催しました。この「1080」号蒸気機関車の展示により、梅小路蒸気機関車館には明治・大正・昭和の３つの時代の蒸気機関車が揃いました。

栃木事業所からの搬出



梅小路 SL 館への搬入

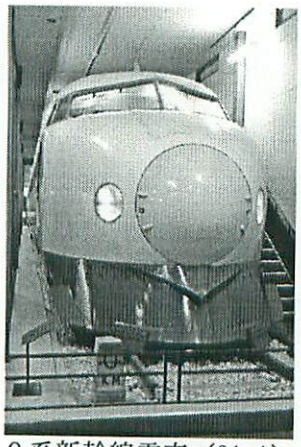


整備作業の様子

譲渡式の様子

○「０系新幹線車両（21-1、16-1、35-1、22-1）」が「重要科学技術史資料」に登録

交通科学博物館に保存・展示している０系新幹線車両第１号車４両が国立科学博物館の「重要科学技術史資料」として登録されます。



０系新幹線電車（21-1）

普通車（21-1）

グリーン車（16-1）

ビュフェ車（35-1）

ACCESS

●三岐鉄道三岐線で近鉄富田駅より最速31分、丹生川駅下車

※ 三岐線のJR富田～大矢知間は貨物列車のみの運行です。JR富田駅から近鉄富田駅は徒歩約10分です。

ご利用案内

■開館時間／午前10:00～午後4:00

■入 館 料／無料

■開 館 日／毎月第1日曜日（1月のみ第2日曜日）
（その他、臨時に開館することがあります）

ご寄付のお願い

当館は、皆様からのご寄付により運営しております。
皆様からの、温かいご支援をお待ち致しております。
1口1,000円からお受けしております。

郵便振替口座　00970-8-179686　貨物鉄道博物館

⚠ 展示車輌に上ることは大変危険ですからおやめください。
万一おケガをされた場合でも、当館は責任を負えませんので、十分ご注意ください。

FRM Freight Railway Museum
貨物鉄道博物館

三重県いなべ市大安町　三岐鉄道三岐線丹生川駅前
事務局：〒510-8014 三重県四日市市富田3丁目22-83 三岐鉄道株式会社内
TEL　059-364-2141　／　E-mail　frm_office@yahoo.co.jp
http://frm.kans.jp/

貨物鉄道の歴史を感じてみませんか

正面イラスト：横溝英一

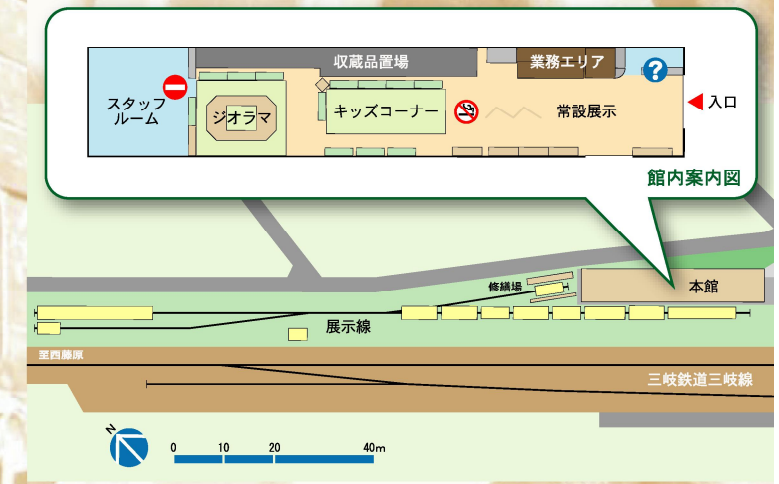
Freight Railway Museum
貨物鉄道博物館

貨物鉄道博物館のあらまし

日本の経済発展を支えてきた、鉄道による貨物輸送が、1873（明治6）年9月15日に始まって以来、2003（平成15）年に130周年を迎えるのを記念して、初めての貨物鉄道を専門とする博物館として当館は開館しました。

主要な展示物であるさまざまな種類の実物貨車は、全国の鉄道事業者や企業・個人からの寄贈や貸与によるもので、現存する最古級の貴重な車輌が勢揃いしています。

当館は、一般からの寄付とボランティアにより運営されております。皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。



収蔵車

※ 収蔵車輌の一部を掲載

■ B4形39号

■ ト200形246号

■ シキ160形160号

■ ワ11形11号

■ ホサ1形1号

■ タム5000形6263号

団体名	加悦ＳＬ広場 カヤ興産株式会社	〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝941-2 TEL 0772-42-3186 FAX 0772-43-0080 URL http://www.kyt-net.ne.jp/kayaslhiroba/

【近況報告】

■ 平成21年4月1日より 入場料金を変更　　中学生以上300円 小学生100円

■ 展示車両 修繕･化粧直しを実施

C57189、C58390、103号、N5号、ハ21、ハ10、1261号、キ165、ハブ3

■ ４号蒸気機関車 修復中

■ 平成20年11月「ＳＬ広場周年祭」 平成21年5月「初夏の加悦鉄道まつり」を開催

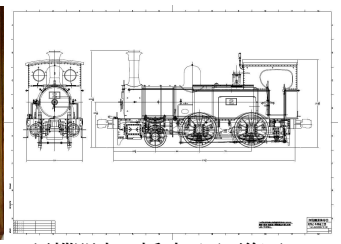
■ 平成21年度「ＳＬ広場周年祭」平成21年11月14日(土)～15日(日) 開催予定

団体名	特定非営利活動法人 **加悦鐵道保存会**	〒629-2422 京都府与謝郡与謝野町字滝９４１番地の２ 　加悦ＳＬ広場内 電話　0725-20-3811（会長自宅） 電子メール　npo-kayatetsu@almond.ocn.ne.jp ホームページは「加悦鉄道保存会」で検索できます。

■平成20年10月～平成２１年９月の動き

動態保存車輌の維持管理
４号蒸気機関車の外観整備
KD-4形機関車（加藤製作所）の動態復元完工（20年9月）

　作業や日常の維持管理に、在籍会員の参加意識向上が求められています。
　同時に、鉄道愛好者による保存への期待の高まりに対して、参加人口の少ない現状を強く訴え、将来の人材確保の途を考えなくてはなりません。



加悦鉄道OBからの聞き取り　　冊子「よみがえる加悦鉄道」の発行（5月）　　2号機関車の採寸と図面復元（継続）

「旧加悦駅舎」展示の充実（閉塞器の動態復元・非自動保安装置の復元）
　加悦鉄道とは直接関係ありませんが、タブレット閉塞器の第1種（マル）が2台揃いましたので、通信線を整備して閉塞の取り扱いが再現できるようになりました。
　合わせて、丹後山田駅の側線等で使用されていた信号・転轍器の保安装置の整備も施し、「非自動」という、「人が動かしていた時代の鉄道風景」を知ることが出来るようになりました。
　いずれは全てを動態化して、実際に操作を体験できるように整えたいと考えます。

「KTR宮津線えきラリー」野田川駅への出展（20年11月）　「初夏の加悦鉄道まつり」（5月）　宮津市内大型商業施設への展示協力（8月）

　その他、ＤＣ３５１形機関車、客車等保存車輌の維持管理。ラジオ・新聞等メディアへの取材協力。他の保存団体との交流などを行っています。右写真のような、納涼会も楽しみの一つです。

■今後の予定

４号機関車に続いて、ＤＢ２０２とワブ３（ともに動態保存車）を入庫させ、整備が始まります。

■郵便物■　〒595-0071　大阪府泉大津市助松町3-1-31-508　森本　寿　宛お送りください。

NPO 市民文化財ネットワーク鳥取

680-0022 鳥取市西町 1-106　　Tel 0857 26 1151　Fax 0857 22 4103
若桜町役場　　Tel 0858 82 2231　Fax 0858 82 0134

若桜鉄道　上下分離の移行と沿線地域の活動について

1　鉄道事業再構築実施計画（上下分離方式）の策定経過について

平成 20 年 7 月 7 日　若桜谷公共交通活性化協議会設立
同　9 月 1 日　若桜鉄道新体制移行準備室を八頭町役場八東庁舎に設置し 3 名体制で上下分離に向けて準備を進める
同　10 月 27 日　若桜谷公共交通活性化総合連携計画の策定、送付
平成 21 年 3 月 3 日　鉄道事業再構築実施計画の認定申請
同　3 月 13 日　鉄道事業再構築実施計画の認定、手交
同　4 月 1 日　若桜鉄道上下分離スタート

2　上下分離方式移行後の取り組み

(1)若桜鉄道(株)の取り組み

①企画切符等の取り組み
②経営改善策の検討

(2)沿線自治体の取り組み

①回数券・定期券購入助成
②自治体職員の支援
③観光誘致活動

(3)鉄道利用促進実行委員会の取り組み

①通学定期券の割引
②ポイントカードの発行
③鉄道沿線の景観保全

(4)沿線住民の取り組み

①「隼駅を守る会」の結成
②安部駅の取り組み

3　国登録有形文化財の取り組みについて

平成 20 年 7 月 23 日に若桜鉄道関連施設（23 施設）が国登録有形文化財に登録。
施設の詳細はパンフレット『近代化遺産としての若桜鉄道』をご覧ください。

4　商工会の取り組みについて

特産品の開発と若桜鉄道を中心とした観光開発に取り組み、地域経済の活性化に繋げる事業を展開。（地域資源∞全国展開プロジェクト）

①鉄道を核とした観光マップの作成　②駅弁の開発
③ＳＬを活用した地域活性化の検討 ― ＳＬの営業運行、古い客車の導入等々

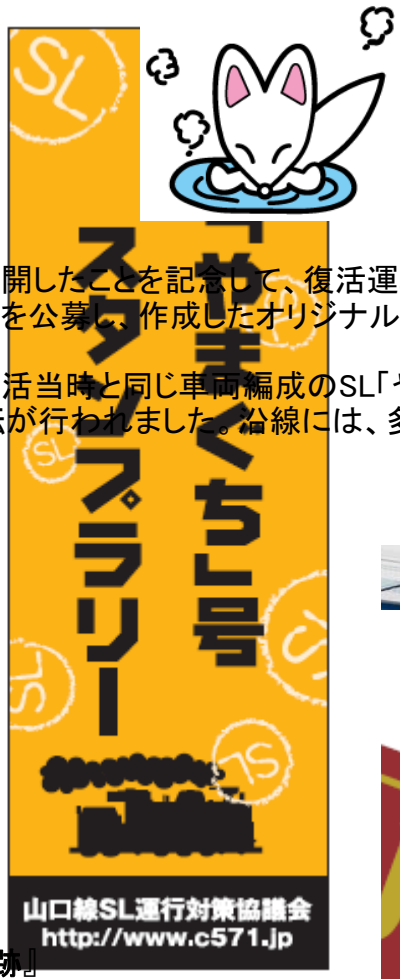
団体名	山口線SL運行対策協議会	連絡先 〒753-8501 山口県山口市滝町１－１（山口県観光交流課内） TEL：083-933-3170　FAX：083-933-3179 E-mail：c571@c571.jp　HP：http://www.c571.jp/

ＳＬ「やまぐち」号復活運転３

ＳＬ「やまぐち」号は、昭和５４年８月１日に山口線に復活運転してから、今年で３０年目を迎えました。この節目となる３０周年を記念して様々な事業を実施し

●SL「やまぐち号」スタートイベント
2009年の運行開始に合わせ、3月28日（土）に、2009SL「やまぐち」号出発式を開催しました。

●SL「やまぐち」号スタンプラリー
ＳＬ「やまぐち」号車内と沿線の３つのエリアに設置されたスタンプを集めて応募すると、抽選で素敵な商品が当たるスタンプラリーを実施しています。

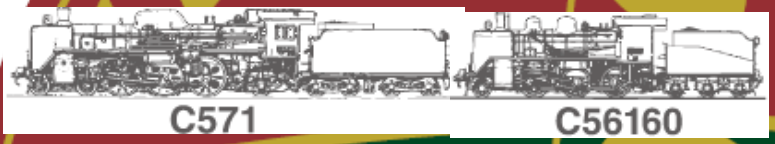


●SL「やまぐち号」復活運転30周年記念日イベント
SL「やまぐち号」が、昭和54年8月1日から運転を再開したことを記念して、復活運転30周年の復活記念日に記念セレモニーを開催。デザインを公募し、作成したオリジナルヘッドマークの披露を行いました。
さらに、当日は、オリジナルヘッドマークを装着し、復活当時と同じ車両編成のSL「やまぐち30周年」号が運行され、上り線では、プッシュプル運転が行われました。沿線には、多くのSLファンが集まり、復活運転30周年を祝いました。

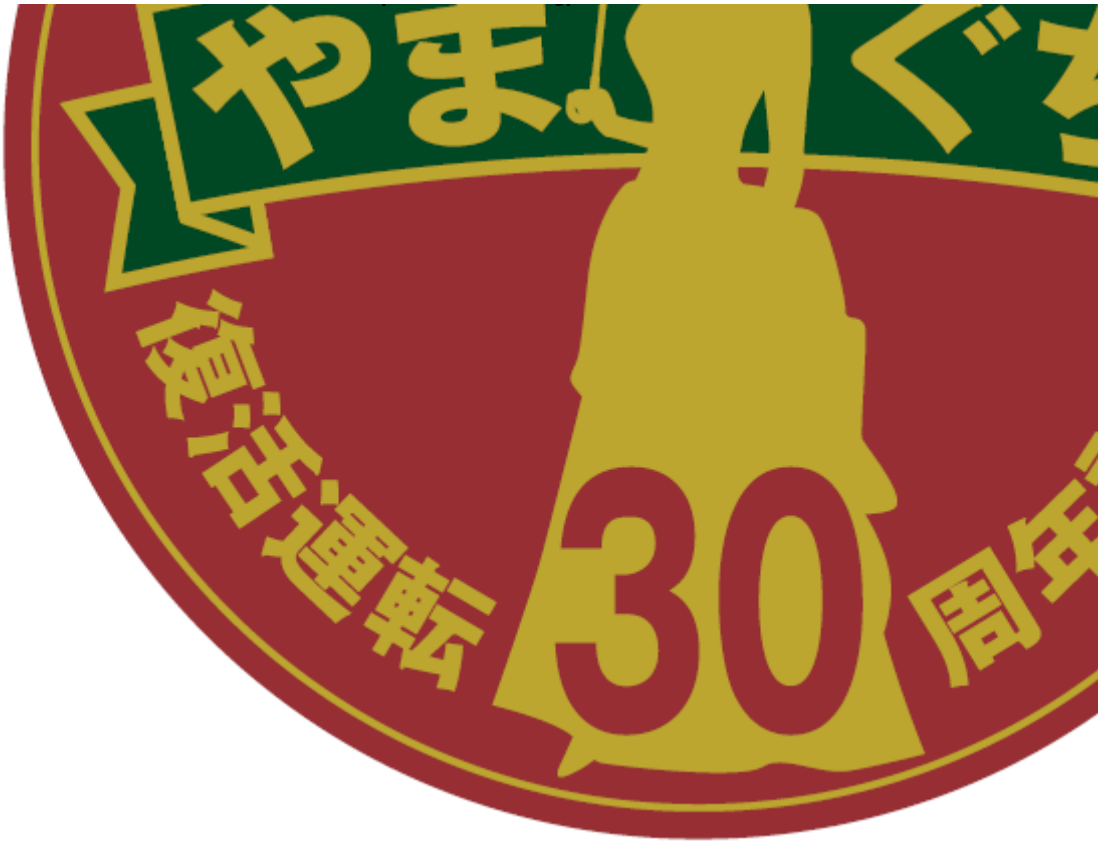
復活運転30周年記念
オリジナルヘッドマーク

ヘッドマークのデザインを募集し、オリジナルヘッドマークを作成しました。

●SL「やまぐち」号30周年記念誌　『貴婦人の軌跡』
ＳＬ「やまぐち」号の３０周年の軌跡をたどり、「動く文化遺産」としての価値を後世に伝えるため、記念誌（非売品）を制作しました。



URL：http://www.c571.jp


やま
ぐち
飲酒運転
30
周年

ち
年記念

団体名	九州旅客鉄道株式会社	連絡先（住所・電話等） 〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3-25-21 TEL 092-474-2541　Fax 092-474-3898

平成21年4月25日、「SL人吉」デビュー

熊本駅のセレモニーで出発合図する堀駅長と１日駅長を務めた人吉市まちづくり親善大使の斎藤由香さん

小倉工場で修復作業中（台枠仮合わせ）の様子

復活に向けて修復作業を進めてきたＳＬ（58654 号機）が 4 月 25 日、熊本～人吉間で運転を開始しました。熊本、人吉駅ではそれぞれセレモニーが行われ、ＳＬ復活を祝いました。

58654 号機が属する 8620 形、通称「ハチロク」は、かつて大正３年に国産初の量産型旅客用機関車として登場したもので、現役では全国最高齢ＳＬとなります。昭和 50 年３月の運転を最後に引退後、人吉市が国鉄から借りうけ、肥薩線矢岳駅に隣接するＳＬ展示館で保存されていました。その後復元作業を行い、昭和 63 年から 17 年間豊肥本線熊本～宮地間で「ＳＬあそＢＯＹ」として活躍しましたが、平成 17 年に老朽化のため引退。平成 18 年夏よりＳＬ復活プロジェクトチームを立ち上げ、台枠の新製などＳＬ大改修を行い、遂に復活の日を迎えました。

ＳＬ運転概要
愛　称　名：「ＳＬ人吉」
運　転　日：（平成 21 年）４月 25 日～11 月 29 日の金・土・休日
ゴールデンウィーク、夏休みの毎日
運行区間：鹿児島本線・肥薩線　熊本～人吉間（１日１往復）

10月3連休は　九州鉄道記念館「鉄道の日」スペシャルイベント

九州鉄道記念館では、１０月の３連休（10 月 10 日～12 日）に「鉄道の日」スペシャルイベントと銘打って、鉄道ファンの皆さんとふれ合うさまざまなイベントを開催します。

①　ブルートレインの撮影会及び客車内公開（10月12日）

②　鉄道のしごと体験～車掌編～（10日・11日）③鉄道模型の運行及び工作教室（10日～12日）など

九州鉄道記念館
Kyushu Railway History Museum
Since 2003

北九州市門司区清滝２－３－２９（最寄駅：門司港駅）
TEL：093－322－1006　ホームページ http://www.k-rhm.jp

団体名	ふるさと鉄道保存協会	連絡先事務局 ㈱ワンマイル内　080-6412-1666　手嶋宛 福岡市博多区博多駅東３丁目 11-12

【最近の動き】

●「鉄道郵便車フェスティバル２００９・オータム」を実施

鉄道郵便車オユ 10 の公開と整備を行いました。

１　開催日時

９月２６日、27 日　両日とも 10:00～16:00

２　開催場所

のと鉄道能登中島駅

３　実施内容

車内見学、車内作業体験、各種展示、グッズ販売

車体点検補修　26 日屋根上点検清掃

27 日車体一部補修塗装、注油整備

● ワーキンググループから各保存会への発展独立

有田鉄道 WG　→　金屋口鉄道保存会

有田鉄道金屋口駅跡で活動する保存会。

DB20、ヨ 6000、蒲原木造貨車４両、紀州キハ 603 は　ふる鉄より保存会へ貸与（一部譲渡）

22 年春より鉄道公園として有田川町が有田鉄道の気動車を使いオープン予定。保存活動へ参画予定

天竜二俣キハ 20 修復 WG　→　天竜レトロ・トレインクラブ

天竜二俣駅横でキハ 20、ナハネ 20 を天竜市より預かって保存修復。

● 理事長を交代　手嶋康人→笹田昌宏

初代理事長笹田が２２年春よりアメリカから帰国予定により理事長を交代。

ふるさと鉄道保存協会　HP　http://furutetu.web.fc2.com/

団体名	鹿児島県屋久島町	〒８９１－４２０７ 鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田 469－45 屋久島町役場企画調整課 ℡ 0997－43－5900　FAX 0997 - 43 - 5905

【　屋久島林用鉄道　】・・・動く環境教育・・・

屋久島（安房）森林軌道は，歴史的に屋久島森林開発の軌跡であり，唯一国内に現存する林用鉄道です。

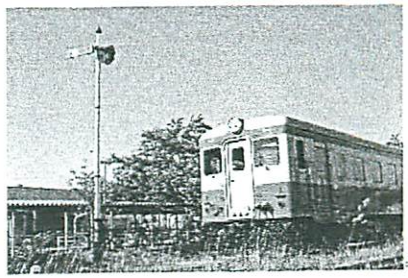
１９２３年（大正１２年）の開設以来，屋久杉搬出の花形として，また，小杉谷・石塚集落に暮らす人々の生活の足としても活躍してきました。

現在は，利用頻度は減少したとはいえ，屋久島の産業史を知るうえからも文化的価値の高い地域資源です。

また，海岸部から標高１，０００ｍまでに至るこの森林軌道は，標高差による植物の変化を理解するうえでも貴重なもので，特に荒川分岐点までの１０km余りは，温帯の最も南にある屋久島の照葉樹林を知ることができます。

このように人と自然との関係や，屋久島の植生の特徴を理解するうえで，貴重な資源である軌道を後世まで動態保存して，このエリアを広義の『環境教育』の場としてとらえ『動く環境教室』の舞台として利活用できるよう，今後も事業を展開していくことにしていますが，人を乗せて運ぶためにクリアしなければならない問題も多々あり，なかなか先に進むことができない状況です。

大畑線キハ８５動態保存会の概要



キハ２２と腕木式信号機

大畑線キハ 85 動態保存会は、当初、JAS(日本エアシステム：現在「日本航空インターナショナル」）関連会社の社員（ほとんどが機長）で構成し、鉄道模型を作ったり、鉄道旅行等を通して会員の親睦を図っている程度の活動でありました。

しかし、私達は、昨今のあまりにものの古き良き鉄道文化遺産が消滅していくのを見過ごすことができず、何らかの形でどこかの車両を動態保存が出来ないかと模索してまいりました。

そこで、このたび 2001.3.31 をもって廃止になった下北交通大畑線が、

1. 旧国鉄のキハ 22 を使用していたこと。（キハ 22 にとって最後の動態保存となる。）
2. 鉄道施設が完璧に近い形で残っている。（車庫や線路）
3. 昭和３０年～４０年代の古き良き鉄道風景が残っている。

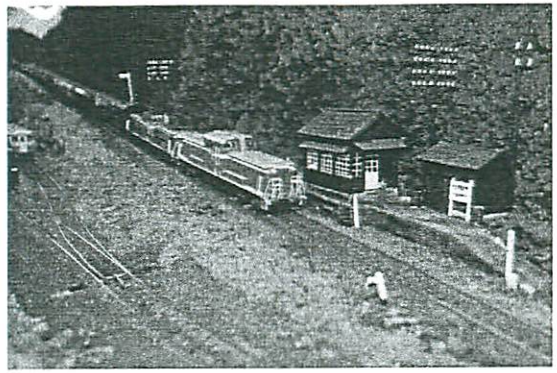
等の理由があり、是非とも動態保存を行ないたい旨を書簡で申し入れを行ないました。

そこで、数回の下北交通とのやり取りのなか、下北交通白濱社長のご英断により 2001.11.1 をもって正式に動態保存が実現いたしました。

保存会が保有する車両すべて（大畑駅構内）

私達は、この話しが、全国の鉄道愛好家や賛同いただける方々に知れ渡り、お互いの共同作業によってこの鉄道文化遺産を末永く、後世に受け継いでいく必要性を今まさに痛感しております。現在会員数 27 名の会員で運営しており、現役の気動車運転手も我々の仲間となり、運転技法についても本職に近い形になりつつあります。

この企画が、単なる、鉄道マニアのお遊びではなく、今後は、下北半島の発展の一助となれば光栄です。



気動車内に作られた HO ゲージレイアウト

尚、大畑町の鉄道公園化計画が白紙撤回となりましたが、その後、現在の土地・施設所有会社「株式会社柏翠」様のご好意により今後も動態保存を続けてきました。
その後NPO法人GEMBUの傘下となり活動を続けています。

また、キハ２２１５１内に HO ゲージ鉄道模型レイアウトを設置して、定期運転会時に公開しています。

花輪線「新屋新町」駅と八戸線にあった腕木式信号機を２基設置し、駅から信号を転換できるようになりました。

さらに、ヨ８０００を JR 東日本から購入して動態保存しています。
その後、JR 貨物から構内入れ替え用 DL 機関車を購入して、ヨ８０００を牽引したり、キハ２２のエンスト時の緊急入れ替え用として活躍させております。
今後も、定期運転会を実施しさらに活動を継続して鉄道文化遺産の動態保存を続けていく予定です。

以上